

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名				コード	4900 総務諸費(子ども議会)	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	庶務行政班
基本施策				24	協働の促進	根拠法令	なし	2	1	11	☒ 主な事業		
施策の展開				45	市民参画の推進	戦略事業	216	子ども議会の開催			☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開						戦略事業					☐ 新市建設計画		
											☐ 定住自立圏構想		
											☐ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 18 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	学校で学んだ地方自治や地方議会制度について子ども達の理解を深め、現在の社会状況や、自分が住んでいる旭市のまちづくりについての意識を高めることを目的とし、市内小・中学校の児童・生徒を対象に実際の議場での議会を体験してもらう。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
合併以前から旧旭市・飯岡町で存在した事業で合併後も継続して開催している。 合併以降は平成18年度から事業を開始し、毎年度各学校から1名ずつ(中央小・二中は各2名)計22名の児童・生徒が子ども議員として参加している。	子ども議員である児童・生徒の質問内容が毎年度偏っており、市政に対する理解が限定的となっており、特になし		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)	単位:千円
1.食糧費	54
2.報償金	18
3.印刷製本費	6
4.消耗品費	5
	0
② 特定財源の内訳(27年度の決算)	単位:千円
1.国庫支出金	0
2.都道府県支出金	0
3.地方債	0
4.その他	0

費目内訳	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
1.食糧費	千円	35	-	55	54	57
2.報償金	千円	17	-	17	18	24
3.印刷製本費	千円	0	-	11	6	6
4.消耗品費	千円	9	-	13	5	10
事業費計(A)	千円	61	0	96	83	97
1.国庫支出金	千円					
2.都道府県支出金	千円					
3.地方債	千円					
4.その他	千円					
5.一般財源	千円	61	0	96	83	97

前年度増減理由	参加した児童・生徒に渡す集合写真を2種類から1種類にしたため。
---------	---------------------------------

従事職員数	常時	2人	最大	7人	×	1日	=	延べ	7人
-------	----	----	----	----	---	----	---	----	----

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

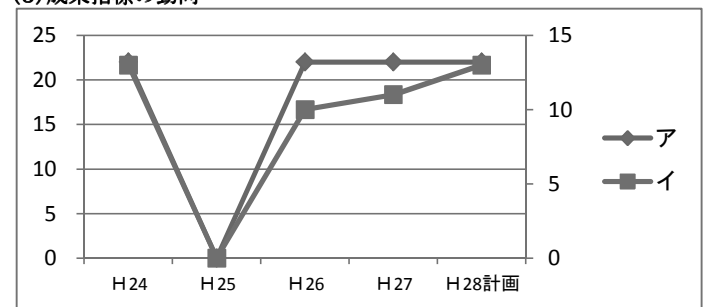
① 主な活動	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
27年度実績(27年度に行った主な活動)							
7月下旬に市内小中学校の児童生徒を対象に子ども議会を開催した。	参加者数(子ども議員及び市内各小学校傍聴者)	人	44	開催見送り	44	44	44
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)							
対象意図	質問事項の回答に対して「わかった」と答えた児童・生徒の数(子ども議員のみ)	人	22	開催見送り	22	22	22
対象意図	質問事項に対して回答した課の数	課	13	開催見送り	10	11	13

(4) 事務事業優先度評価の結果

①成果優先度評価結果				
		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果				
		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了	☐ 順調	☒ 概ね順調	☐ 停滞	☐ 実施困難
【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	数値減＝成果向上
【コメント】 (低下の場合、その理由)				☒ 横ばい	☐ 低下
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大	☒ 現状維持
平成28年5月	幅広い分野から質問してもらうため、質問項目の参考例を教育委員会と協議し、市内各小中学校宛てに提示する。	平成29年度中	平成28年度に質問項目の参考例を提示する試みを開始。	☐ 縮小	☐ 廃止・休止